

翔輝

広報第251号



野球部 県大会で準優勝

生徒が輝く学校に

―眩しく輝いたキミたちの夏―

高等学校長 杉崎 朗



学校説明会でいつも話す話ですが、高校時代に自分が輝く時間、輝くことができる場所を探すことが大切だという話をさせていただいています。将来を見据えて、そこに向かって突き進むことは大事です。しかし、高校時代が将来の夢に向かうための準備の期間だけで終わってはいけないと思っています。

コロナ禍での特別な年になってしまい、生徒のみなさんも予定していた令和二年という年が大きく軌道修正しなければならなくなりました。学校も入学式こそ挙行できたものの、その後は二か月に亘る休校措置のために、授業は大幅に遅れ、クラブ活動の大

会もすべて中止となりました。生徒が楽しみにしていた文化祭、体育祭も中止、地域研修旅行や遠足も延期や中止と何もかもが予定通りいかない状況です。

しかし人生も思い通りにはいきませんよね。予想もしないことが次から次へと起きるのが私たちの人生です。何かにチャレンジしようと思えば思うほど、その傾向はさらに強くなります。そんな中で、野球部の活躍は相洋のコロナ禍をぶっ飛ばすくらいのパクトがありました。

高校野球に携わるたくさんの方たちの努力と情熱で開催していただいた神奈川県高校野球代替大会に、本校野球部も参加させていただきました。無観客の中で行われた試合ですが、東海大学相模高等学校との決勝戦はテレビでも放送され、全国の高校野球ファンが注目した試合でした。今年からデザインが一新されたユニホームでプレイをする生徒

は輝いて見えました。いつの時にも輝いている本人は、そのことに気づいていません。けれど、全力で駆け抜けた夏空にキミたちは本当に眩しく見えました。

夏から秋にかけて学校説明会を行っています。過去に参加された方もたくさんいらっしゃると思います。年々進化していく相洋の学校説明会は今年もたくさんの中学生、保護者の皆様の参加をいただいております。例年三回の説明会を今年は五回に増やし、さらに開催場所も小田原だけでなく、厚木文化会館、茅ヶ崎市民会館で行いました。お陰様で受け付けと同時に申し込みが殺到し、あつというまに予約で満席となりました。

この説明会の人気は、すべて生徒だけで運営されることにあります。参加していただいた中学生や保護者の方から「感動しました」「生徒だけで進行させているのが凄い」「生徒が生き生きとしている」「なごの声がいっぱい寄せられます。それぞれのコースの特徴を独自の観点から説明する生徒、台本を片手に舞台進行をする

生徒、放課後のショートストリーでパフォーマンスをする生徒、お客様を誘導する場内案内の生徒、その誰もが全力で取り組んでいる姿に感動していただけるのだと思います。

相洋のどこがアピールポイントですかと保護者の方や学校の先生方、塾の先生方から聞かれることがあります。クラブの充実や学校の様々の取り組みなどありますが、何と言っても生徒の輝いている顔を見ていただくのが一番だと思っています。泥まみれになって白球を追いかける生徒、舞台のパフォーマンスに汗をかく生徒、遅くまで自習室で赤本とにらめっこしている生徒。

そしてコロナ禍の夏休みに遅くまで自習室の生徒たちに寄り添っている若い先生、オンライン授業のために研修を重ねている一年目の先生。夢中になってもがいたこの特別な夏に、相洋の誰もが輝いていました。



中学校長 渡邊 祐一



今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の關係で、規模を縮小した形で入学式を四月六日(月)に執り行い、中学校は四十六名の新入生を迎え、全体では一二〇名でスタートしました。例年ですと新入生はすぐに宿泊研修に出かけ、相洋生としての第一歩を踏み出すところでしたが、始業式翌日からの休校により実施することができませんでした。また、運動会の延期、デイスカバリーキャンプ・文化祭・音楽会の中止など、中高六カ年前半の教育の中で重要な位置付けとされている行事が実施できなかつたことはとても残念に思いますが、しかし、教職員の中でよく相談し、今できることを・今だからできることを

考え、運動会・主張発表会・自由研究発表会など、例年とは異なる形で実施することができ、またその中から新たな発見をすることもできました。

さて、相洋中学校では今年度から今までの教育を三つの柱に整理し展開していきます。

その一つ目の柱は、大学進学をゴールと考えるのではなく、その先を見据えた指導を重視した『キャリア教育』、二つ目の柱は、広い世界で様々な国の人々とコミュニケーションを活発に図るためのグローバルな視野と、地域や日本の歴史・文化を深く理解し発信できるローカルな視点を併せ持つための『グローバル教育』、そして三つ目の柱が、間違いや失敗を経験させ仲間と協力しながら問題解決を行える力を育てる『心の教育』です。

そしてその中の一つ、グローバル教育の一環として昨年度から中学三年生希望者を対象とし、英語力を高める・新しい文化の発見・そして自立心の向上を目的

としたニュージールランドタム留学を導入しました。参加した生徒は九月から月に一回の校内研修を経たのち元氣に出発しました。約二か月間の研修を終え帰国した姿は充実感に溢れていました。

さらに今年度からは中学二・三年生を対象に、英語の四技能をバランスよく習得することを目的として、オンライン英会話の授業を九月から導入しました。通常の英語の授業の中で月二時間の学習を行います。最初は相手の外国人講師に戸惑いを見せる生徒もいましたが、講義の後半では、みんなの一生懸命にコミュニケーションをとろうとする姿勢が印象的でした。この会話を基に英語力の向上に加え、他の国の文化なども理解し受け入れられるようになることを期待しています。中高一貫教育の前半では、主体的に学習に取り組むことはもちろんのこと、多くの体験から自分で考え行動する力は、より学力の向上につながると思います。今後とも何卒、本校の教育

にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



中学校運動会(城山競技場にて)

中学校行事

主張発表会



今年度も充実したスピーチに

第十二回相洋中学校主張発表会が、九月一日(火)本校の体育館で行われました。例年は相洋祭のプレイベントとして行っている本行事ですが、今年度は相洋祭の中止に伴い、二学期始業式に併せて実施しました。当日は全校生徒が見守る中、各クラスの代表者六名による真剣で力強い主張発表が行われました。この発表会は、各クラス・各学年での発表をオーブンにすることで、他学年のレベルの差や着眼点の違い、スピーチの仕方等を学ばせる目的で行っています。本年も中学一年生から三年生まで全員が主張作文に取り組み、一学期中にクラスでの一分間スピーチも終了しました。

当日は望月真緒(中一)・磯崎咲良(中一)・境真央(中二)・松本莉奈(中二)・刀称秀篤(中三)・鰻田愛菜美(中三)の順で発表を行い、司会進行を生徒会長の永井智也(中三)・副会長の野崎康太(中三)の二名が務めました。審査の結果は、境と鰻田が優秀賞に、そして、最優秀賞には、幸せとは何かという普遍的な問いに迫った三年生刀称の「幸せを求めて」が選ばれました。刀称の主張は、心が満ちた自らの体験から幸せの本質を探り、このコロナ禍にあらためて気付いた日常の大切さや周囲への感謝に触れながら、幸せな未来を掴む決意を述べていました。主張発表会を体育館で実施したのは初めてのことでしたが、どの発表者も大舞台に気後れすることなく、堂々とスピーチをする様子が印象的でした。また、主張内容は中学生が共感しやすい題材が多く、見学する生徒もより身近な話題として聴き入っていました。来年も優秀な発表を期待します。

(主張発表会担当 飯山詩織)

運動会

中学校運動会が、九月二十九日(火)城山競技場にて行われました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の関係で、例年行われていた六月から延期しての実施となりました。練習や準備にあてる期間も短く、また悪天候に翻弄されることも多かったです。当日は、雨も降ることなく涼しい気候となりました。午前中のみの実施ではありましたが、天気にも恵まれて、全てのプログラムを無事行うことができました。

今年度の運動会は、応援委員と実行委員を兼ねた委員会を立ち上げて、各クラス二名ずつの計十二名によって、運営されることになりました。当日は、赤組応援団長の田中智(中三)と、白組応援団長の佐竹隼(中三)による息の合った選手宣誓によって、運動会が始まりました。最初の種目の大縄跳びでは、今年度は密接な状況を避けるために跳ぶ人数を十人と決めて、一回跳んだ合計回数で競うことになりました。結果は、中学三年一組が合計一三三回跳び、最も多く跳んだクラスとして団結賞に輝きました。その後、集団演技では、二年生と空手道選択の三年生による空手道演武、一年生とダンス選択の三年生によるダンス発表が披露

されました。途中、観客から拍手や手拍子が起こるなど、盛り上がりを見せる発表となりました。

その後の種目でも、両チームともフェアな競い合いが行われ、優勝杯の行方は最後までわからない展開となりました。最後の種目である全員リレーの前に、団長が各色の選手に呼びかけて、大きな円陣を作るといふ、予定にはない取り組みも見られました。

各組の奮闘の結果、赤組二〇〇点、白組二一〇点とわずかな差で白組が勝利を手にし、終了しました。今年度の運動会のテーマは、『燃やせ 気迫あふれる 熱い闘志』でした。例年にはない様々な変更に対しても、臨機応変に教員と生徒が一致団結をして、生徒主体で工夫を凝らすことができ、今回のテーマにふさわしい運動会になりました。

今回の運動会は平日開催となりましたが、ご多忙中にもかかわらず会場に足を運んでいただき、生徒たちの健闘に最後までご声援を送っていただいた保護者の皆様には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

(中学運動会担当 天草大輔)



高等学校 特進コースの取り組み タブレットを活用した学習活動



特進コースでは他コースに先駆けて、タブレットを活用した学習活動を行っています。昨年度から選抜クラスの生徒にはタブレットを導入していましたが、今年度は二・三年選抜クラスと一年生全員に導入し、授業やホームルームで様々な取り組みに活用しています。

校内はWi-Fiがほぼ整っていますので、校内で使用するには制限がかりません。充電用ボックスも教室に用意されています。ソフトウェアはOffice365（ワード・エクセル・パワーポイント等）、アプリはロイロノート・スタディアアプリ・スタディアアプリ

ENGLISHです。

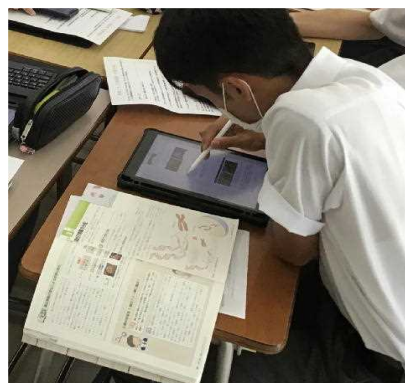
授業では主にロイロノートを使用していません。今までプリントとして配布していたものは、ロイロノート上でデータとして配信することができません。そこに直接書き込むことができますので、タブレットがノート代わりになります。また、配信された課題に解答したものをロイロノート上で教員に提出することもできます。また、タブレットで撮影した写真の保存、送信もロイロノートはアンケート集計もできますので、ホームルームでも活用しています。



スタディアアプリの課題配信も並行して行っています。スタディアアプリは普通科全コースが使用していますが、タブレットの大きな画面で講義動画を視聴できるので、スマホでの視聴に比べると格段に学習しやすいといえます。

コロナウイルス感染予防のための休校期間中にはタブレットが大活躍しました。課題だけでなく説明の動画も配信し、課題が配信したまま放置されることはありませんでした。現時点での授業進度は、ほとんどの科目で例年と変わらない状態になっています。

生徒のタブレット学習に対する順応は驚くほど速く、学習にタブレットの活用を組み込んで各自の学習スタイルを確立しようとしています。生徒にタブレット学習の感想を聞いてみると、「ペーパーレスになって整理がしやすくなった」「提出したかどうか確認しやすくなった」「たかさんの教科のことがタブレット一台に集約されるので学習の効率が良くなった」「先生への質問がしやすくなった」など、学習への取り組みやすさを実感しているようです。



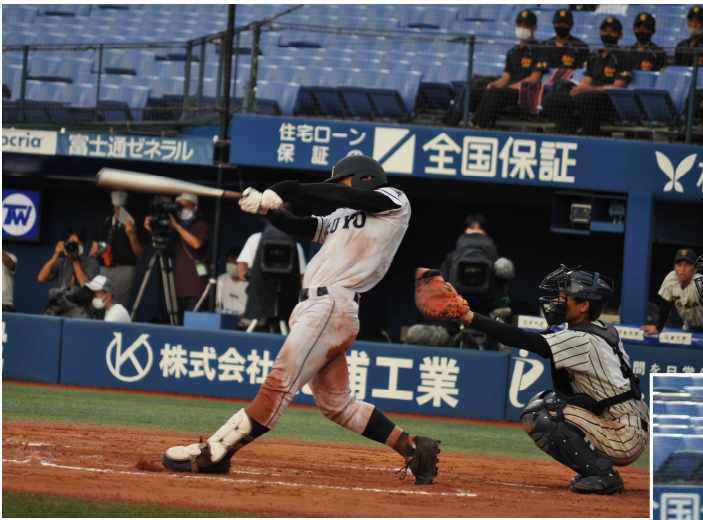
情報活用能力が「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けられる新学習指導要領において、ICT機器の活用は、学習支援のみならず様々な場面で必要となるでしょう。タブレットを活用したプレゼン指導の一環として、進路調査に関する発表会なども行いました。教員もICT教育について今後も学びを深めて、可能性を広げていきたいと考えています。

（特進コース主事 佐藤大志）



高等学校野球部 創部以来初！ 夏の神奈川県大会で準優勝！

八月一日（土）から二十三日（日）にかけて、令和二年度神奈川県高校野球大会開催されました。本校野球部は、創部以来初となる決勝進出を果たし、準優勝という結果を収めました。



- 二回戦 11-0 対横浜桜陽高（大和スタジアム）
- 三回戦 11-0 対横浜翠陵高（小田原球場）
- 四回戦 7-0 対平塚湘風高（平塚球場）
- 五回戦 18-14 対慶應義塾高（藤沢八部球場）
- 準々決勝 5-10 対立花学園高（平塚球場）
- 準決勝 9-16 対星槎国際湘南高（横浜スタジアム）
- 決勝 5-19 対東海大相模高（横浜スタジアム）

昨年の秋季大会において東海大相模に敗戦して以来、冬場のトレーニング、技術練習を中心に日々打ち込んできました。しかし、新型コロナウイルスの影響によって、三カ月間活動できない状態が続き、春季大会も選手権大会も中止。肩を落とす部員たちに、かける言葉も見当たりませんでした。夏の大会に望みを

懸け、各自で懸命に練習を重ねていたところ、ついに独自大会の開催が決定。仲間と再び野球ができる喜びを噛みしめ、「東海大相模に勝利して、最後を締めくくる」ことを目標に、大会に挑みました。

今大会は無観客試合となり、スタンドから聞こえるのはチームメイトの拍手のみ。静けさの中に緊張感が一層みなぎりました。初戦から四回戦までは無失点に抑え、テンポ良く勝ち進むことができ、五回戦へ。対戦相手の慶應義塾高には能力の高い選手が揃っており、前半は苦戦しましたが、一つのチャンスをものにできたことでワンサイドゲームとなりました。相洋のスタイル



である「粘り強さ」を発揮でき、部員たちが逞しく映りました。準々決勝、準決勝も決して容易なゲーム展開ではありませんでしたが、投打が噛み合い、勝利につながりました。

そして、ついに迎えた東海大相模高との決勝戦。部員たちが入学当初から目標としていた舞台です。ツーランホー



ムランで突き放した時の歓喜に溢れた表情には、自粛期間に野球ができなかった苦しみや不安、それを乗り越えて仲間と共にこの場に立てている喜びが前面に現れており、スタンドで涙を流す部員もいました。全員の熱い気持ち詰まったホームランだったように思います。惜しくも優勝まで残り四人というところで相手の粘りに合い、逆転されて敗戦。試合直後、生徒たちはグラウンドで泣き崩れました。「東海大相模を制する憧れ」を持ってこれまで努力してきた」と話す部員。最後まで逃げずに勝負した結果に、悔いはないと気丈に振る舞っていました。部員たちの果敢に富んだ姿勢、相手に対して決して屈しない姿には心打たれるものがありました。球場での観戦は叶わなかったものの、多くの声援を送ってくださいました皆様に感謝しております。これまで築き上げてきた財産を後輩が引き継ぎ、県大会優勝という夢の実現を目指してこれからも精進してまいります。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

(野球部部长 吉成徹)

高等学校 陸上競技部

第六十二回神奈川県高等学校新人陸上競技大会が、令和二年九月十九日(土)・二十日(日)・二十六日(土)・二十七日(日)の四日間、三ツ沢公園陸上競技場、県立スポーツセンターにて開催されました。

男子一〇〇m

優勝 高橋 悠斗(文理一 名瀬中)

男子二〇〇m

優勝 高橋 悠斗(文理一 名瀬中)

七位 中谷 颯汰(特進上 浜中)



男子四〇〇m

- 四位 藤 太樹 (特進二) 大正中
- 七位 クレイネ大波 (文理一) 片瀬中
- 男子八〇〇m
- 二位 クレイネ大波 (文理一) 片瀬中



男子一五〇〇m

- 七位 平島 龍斗 (文理二) 綾北中
- 八位 伊波 強輝 (薬一) 港南高
- 男子五〇〇〇m
- 優勝 平島 龍斗 (文理二) 綾北中
- 男子一〇〇〇m障害
- 優勝 矢口 峻慈 (進学一四) 岡津中
- 二位 伊賀 航太 (文理一) 松田中

男子四〇〇m障害

- 優勝 伊賀 航太 (文理一) 松田中
- 五位 工藤 皓平 (薬一) 裾野東中
- 男子三〇〇〇m障害
- 優勝 古山 拓輝 (文理一三) 奈良中
- 六位 早川 晴仁 (文理一) 円蔵中
- 男子走幅跳
- 三位 田内 怜磨 (文理一四) 沼津高
- 男子四〇〇mリレー
- 二位 矢口 峻慈 (進学一四) 岡津中

- 七位 藤 太樹 (特進二) 大正中
- 男子一六〇〇mリレー
- 伊賀 航太 (文理一) 松田中
- 中谷 颯汰 (特進一) 汲沢中
- 高橋 悠斗 (文理一) 名瀬中
- 中谷 颯汰 (特進一) 汲沢中
- 高橋 悠斗 (文理一) 名瀬中
- 男子総合 優勝
- 男子トラック 優勝

女子一〇〇〇m

- 優勝 鶴澤亜里紗 (文理一) 舞岡中
- 六位 奥 珠杏 (文理一) 湯河原中
- 女子二〇〇〇m
- 優勝 鶴澤亜里紗 (文理一) 舞岡中
- 四位 二宮 綾音 (特進一) 成瀬中
- 七位 奥 珠杏 (文理一) 湯河原中
- 女子四〇〇〇m
- 二位 二宮 綾音 (特進一) 成瀬中
- 三位 服部 咲季 (特進一) 藤ヶ岡中
- 女子八〇〇〇m
- 二位 服部 咲季 (特進一) 藤ヶ岡中
- 女子一〇〇〇m障害
- 八位 山崎 凧咲 (貫一) 相洋中

女子四〇〇m障害

- 二位 山崎 凧咲 (貫一) 相洋中
- 五位 鶴木さやか (特進一) 秋葉台中
- 女子走幅跳
- 四位 光井 梨乃 (特進一) 秋葉台中
- 女子四〇〇mリレー
- 優勝 奥 珠杏 (文理一) 湯河原中

- 女子一六〇〇mリレー
- 優勝 光井 梨乃 (特進一) 秋葉台中
- 二宮 綾音 (特進一) 成瀬中
- 服部 咲季 (特進一) 藤ヶ岡中
- 鶴澤亜里紗 (文理一) 舞岡中
- 女子総合 三位
- 女子トラック 優勝

女子一〇〇〇m

- 三位 石川 優 (文理三) 成瀬中
- 十一月一日(木)〜三日
- (土)に第一〇四回日本陸上競技選手権大会が、新潟県デンカビッグスワンスタジアムで開催されました。
- 女子一〇〇〇m
- 三位 石川 優 (文理三) 成瀬中



十一月一日(木)〜三日(土)に第一〇四回日本陸上競技選手権大会が、新潟県デンカビッグスワンスタジアムで開催されました。

女子一〇〇〇m

三位 石川 優 (文理三) 成瀬中

十一月六日(自己ベスト)で神奈川県高校新記録樹立 (陸上競技部顧問 馬場紅海)

高等学校 男子・女子 ソフトテニス部

新型コロナウイルスの感染拡大のため、四月から始まる予定であった関東大会予選の中止、そして、全国高校総体の中止など、三年生にとっては、悔しいシーズンとなりました。入学から高校総体を目指して日々の練習に打ち込んでいた生徒たちにとっては、不完全燃焼となってしまうました。そうした三年生の思いを受け継ぎ、新チームが始動しました。

八月中旬、新型コロナウイルスの感染拡大以降、初めてとなる大会が行われ、徐々に再開の流れが出てきました。

そして、九月十二日(土)に、無観客という例年とは違う形となりましたが、神奈川県高等学校ソフトテニス新人大会西相地区予選会が開催されました。二年生にとっては、久々の公式戦、一年生にとっては、初めての公式戦でしたが、生徒たちは、伸び伸びと元気にプレーをし、良い結果を収めてくれました。男子は準備

勝ペアを含め五ペア、女子は、優勝・準優勝ペアを含め六ペアが、十月三十一日(土)と十一月一日(日)に行われる神奈川県高等学校ソフトテニス新人大会へ出場しました。今後も、良い結果が出せるよう、さらに努力していきたいと思っています。また、団体戦においては、来年一月に行われる関東高校選抜の予選も兼ねており、男女とも出場できるよう頑張っていきたいと思えます。今後ともご声援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



県大会出場選手

(男子)

- 小野 純太 (文理一四・秦野北中)
- 増田 樹生 (文理一四・大磯中)
- 今井 克侑 (進学一・鶴嶺中)
- 上田 幸輝 (進学一・大磯中)
- 渡邊 竜将 (進学二・秦野北中)
- 中静 瞬 (進学一三・秦野北中)
- 小椋 飛羽 (進学一四・秦野南中)
- 北村 拓夢 (文理一四・秦野北中)
- 三橋 亮太 (進学一四・北陽中)
- 田中幸次郎 (商業一・成瀬中)

(女子)

- 石垣 百香 (文理二一・齋川中) 原中
- 加藤 芽衣 (文理一三・酒匂中)
- 齊藤 菜月 (文理一三・岩瀬中)
- 小菅 夏鈴 (特進一・長後中)
- 矢野 結月 (特進一・白山中)
- 工藤 瑠七 (文理一・文命中)
- 石井 希美 (文理一・大磯中)
- 久保寺美月 (文理一・千代中)
- 西野いつは (文理一・成瀬中)
- 齋藤 瑠那 (文理一三・長沢中)
- 小宮 花音 (進学一三・成瀬中)
- 山本 彩花 (進学一三・玉川中)

(男子・女子ソフトテニス部顧問
西島 理・刑部修平)



Web文化祭 —十一月の一カ月間 オンラインで開催—

九月五日(土)・六日(日)に開催予定だった文化祭ですが、今年度はコロナウイルスの影響により開催を断念することになりました。

例年は三年生主体で各クラブ・委員会も盛大に準備をしているのですが、今年度は準備をすることもままならない状況のため、体育祭を含め相洋祭全体を中止するという判断になりました。状況が状況だけに、学校全体として中止は仕方ないという思いがありました。生徒会役員の生徒から、オンラインで文化祭を開催するのはどうかという話を持ち上がりました。感染症対策も含め、制約が多いため、今年度は各クラブの撮影済みの映像を中心にオンライン文化祭を発表会形式で開催することになりました。

現在は十一月の一カ月間を相洋オンライン文化祭期間として、そのための準備を行っています。早いところでは、夏休みから構想を練り、そこから撮影の準備に取り掛かり、

動画編集まで各クラブで行って作品を提出してもらいました。また、私たち教員も、学校ホームページ上に、オンライン文化祭用のサイトの作成を準備しています。例年の文化祭とはだいぶ異なる形ですが、現在準備を行っている中で、例年と変わらないことが一つあります。それは、やる時はしっかりとやるという相性生が素晴らしい一面を垣間見ることができたことです。状況がどうであれ、前向きに物事に取り組み生徒の姿勢にはいつも脱帽させられます。

皆様には十一月のオンライン文化祭をぜひ楽しみにしていただければと思います。今後も常に全力で前に進む相性生の姿を見せていけるよう、皆で頑張ってくださいますので、応援をよろしく願います。関係各位にこの場をお借りしてお礼申し上げます。

(生徒会指導主任 富塚博史)

高等学校 球技大会

九月二十九日(火)に、三年生の球技大会が小田原アリーナで行われました。

コロナ感染防止のため、相洋祭が中止となる中での待ちに待った行事でした。大会を行うにあたって、選手同士のハイタッチなどの接触はしない、選手以外はマスクを着用するなどの感染防止対策を徹底しました。



球技大会当日は、生徒会役員と実行委員の生徒が中心となり、一生懸命運営に取り組んでくれました。特に、現生徒会役員で取り組む最後の行事でもあるため、自ら率先として行動する姿は、とても頼もしいと感じました。

久しぶりの行事ということもあり、生徒たちの生き生きとした笑顔を見ることが出来ました。どのチームも、得意・不得意は関係なく、一生懸命に自分の力を発揮している姿、ミスをしてもお互い励まし合っている姿、プレーしている選手を一生懸命に応援している姿、ルールを守って笑顔で楽しんでいる姿など、本当に素晴らしい生徒たちの様々な姿を見ることができました。

特に男子の決勝戦は、デュースが続く緊迫した試合で、会場にいる全員が固唾を呑んで見守っていました。

男子の優勝は進学三―四、女子の優勝は進学三―一になりました。

コロナ感染拡大防止のため、行動が制限される中で、誰ひとり「今年はずまらなかつた」「去年だったら」といった言葉が出ない程の盛り上がりを見せた。生徒たちが見せてくれました。今回の球技大会同様、今後も様々な変化に積極的に向き合う力が求められていくと考えられます。生徒とともに、その変化に対応しながら、良い思い出づくりを、この先もサポートしていききたいと思います。

最後に、運営に協力していただいた男子・女子バレーボール部員をはじめ、球技大会の成功にご尽力いただいた関係各位に、この場を借りて御礼申し上げます。

大会結果

男子
優勝…文理三―四
準優勝…文理三―三
三位…進学三―三
女子
優勝…進学三―一
準優勝…文理三―二
三位…特進三―二

(生徒会顧問 谷藤圭悟)



田中 聡君(文理三二三)
— J1初出場し
Jリーグデビュー

湘南ベルマーレレギュース所属の田中聡(文理三二三)が、七月八日(水)の第三節でJ1に初出場を果たしました。出場は後半の三十分でした。相手は前年度優勝チームの横浜F・マリノスでしたが、臆ずることなく持ち味であるアグレッシブな守備で日本代表経験もある選手たちからボールを奪いに行きます。その姿勢が功を奏し、クロスバー直撃のシュートを打つなど上出来のデビュー戦でした。本人は、「デビューできたことは嬉しいですが、チームの勝利に貢献できなかったことは悔しいです。試合の前は少し緊張もあつたけど、ピッチに立つてからはやってみると緊張することはなかったです」と話しています。



その後、第十四節、第十五節と途中出場で経験を積むと、九月二十七日(土)の第十九節で初のスタメン出場を果たし



ます。相手は首位を独走している川崎フロンターレ。終始ボールを支配される劣勢な状況の中でも、粘り強く体を張った守備で対応しました。その後第二十節でも連続でスタメン出場するなど着実に成長しています。昨年はU・17ワールドカップでも活躍をしました。U・19日本代表候補にも選出されています。今後さらなる努力を重ねて、オリンピック代

表、そして日本代表へと駆け上がっていくことを期待します。(サッカー部顧問 網島陽介)



編集後記

高校一年の国語では古典文法、特に動詞の活用について最初に勉強するので、授業では、その動詞にたどり着くまでの言葉の枠組みについてまず復習する。文は文節に分けられ、文節は単語に分けられ、単語は自立語・付属語に分けられ、単語は自立語・付属語に分けられ、それぞれ言葉の働きに応じて品詞名がついている。自立語はそれだけで意味のわかる語、付属語は自立語に付いて・・・と説明をした後、ここからが楽しいのだが、自立語はそれだけで意味のわかる語、ということなので、自立語だけで会話ができるはず。そこで自立語だけで会話をしてみます、と進めていく。「僕、学校、行く」「今日、学校、休む」「カタコトだけど意味が通じることには生徒にもわかる。「私、あなた、嫌い」「私、あなた、好き」「僕、民子、好き」こういう例を挙げていくと、言葉の意味が生徒の心にストレートに届いていくのか、だんだん教室が波を打つたように静かになっていく。そして、「僕、君、友だち」……。なんていい言葉だろう、自分で言っていて自分で感動する、そしてこの静けさ、ああ生徒も感動している、なんという心にしみる静けさだろう。しかし、あるクラスで、ブウ(僕)がこの言葉を言ったとたん、ブウ(僕)とふき出した生徒がいた。やっぱりクサイセリフだったね。でも授業は、こういうことがあるから、楽しいのです。(学園広報編集担当 三野知之)

令和3年度生徒募集

相洋中学校『学校説明会』のご案内

令和3年度の生徒募集にあたり、中学校の面接対策と、入試問題の傾向と解説についてご説明いたします。 電話：中学専用 0465-23-0214
 日時 ☆令和2年11月1日(日)、12月6日(日)
 いずれも午前10時から 於 スカイホール

	第1回		第2回		第3回
	A	B	A	B	
募集人員	30名(男・女)	20名(男・女)	20名(男・女)	10名(男・女)	10名(男・女)
出願期間	令和3年1月6日(水)～1月31日(日)	令和3年1月6日(水)～2月1日(月)	令和3年1月6日(水)～2月2日(火)	令和3年1月6日(水)～2月2日(火)	令和3年1月6日(水)～2月4日(木)
出願手続	I インターネット出願の場合 本校HPをご覧ください II 本行窓口に出願の場合 ①入学志願票(本校指定の用紙) ②写真1枚 入学志願票に貼付 タテ4cm×ヨコ3cm(白黒・カラーいずれも可) ③6年次1学期・2学期または前期までの通知表表裏の写し(複数回受験者は初回時のみ提出) ④検定料 24,000円(同時出願の場合は34,000円ですべての回に出願する事が出来ます)				
試験日	2月1日(月) 午前8時30分～	2月1日(月) 午後3時10分～	2月2日(火) 午前8時30分～	2月2日(火) 午後3時10分～	2月4日(木) 午前8時30分～
合格発表	2月1日(月)	2月1日(月)・2日(火)	2月2日(火)	2月2日(火)・3日(水)	2月4日(木)

※窓口では1月10日(日)、11日(月・祝)、16日(土)、17日(日)、24日(日)、30日(土)の受付は行いません。※合格発表は、時間指定で発表いたします。詳細は入学試験要項をご覧ください。

相洋高等学校『入試説明会』のご案内

中学生とその保護者を対象にした令和3年度生「入試説明会」を開催いたします。
 皆様お誘い合わせの上、多数御参加下さい。〈インターネット申し込み <https://www.soyo.ac.jp>〉
 令和2年11月8日(日)10:00～、14:00～ 11月14日(土)10:00～、14:00～
 11月21日(土)14:00～ 11月28日(土)10:00～、14:00～
 12月5日(土)10:00～、14:00～ 於 相洋高等学校体育館

	推薦試験	一般試験	チャレンジ・二次試験
試験日	令和3年1月22日(金)	令和3年2月10日(水)	令和3年3月4日(木)
出願資格	令和3年3月中学校卒業見込みで、本校の教育方針と校則に従って、生徒の自分を守り勉学に精励する意志のある生徒 在学中学校長の推薦した本校のみを受験する生徒		
募集人員	*普通科 特進コース 選抜…5名 特進…25名 文理コース 理科…30名 文科…60名 進学コース…60名 *商業科(情報処理)…20名	*普通科 特進コース 選抜…20名 特進…55名 文理コース 理科…60名 文科…120名 進学コース…125名 *商業科(情報処理)…20名	普通科 特進コース 選抜…5名 特進…5名 文理コース 理科…5名 文科…5名 進学コース…5名 商業科(情報処理)…5名
出願受付	令和3年1月16日(土)～1月18日(月) 郵送で当日消印有効	令和3年1月25日(月)～1月31日(日) 郵送で必着	令和3年2月22日(月)～3月3日(水) 試験当日3月4日(木)は窓口受け付け7:30～8:30 *書類は、試験当日事務センターに提出
提出書類	入学志願票・調査書・推薦書	入学志願票・調査書	入学志願票・調査書
試験科目	・作文 9:00より ※面接はありません	(A)筆記試験/国語・数学・英語 9:00より (B)書類審査 ※(A)(B)どちらか選択 ※面接はなし。	・筆記試験/国語・数学・英語 9:00より ※面接はありません
合格発表	令和3年1月23日(土) 可否結果を1月23日(土)必着で本人宛郵送します。	令和3年2月11日(木・祝) 可否結果を2月11日必着で本人宛郵送します。	令和3年3月5日(金) 可否結果を3月5日必着で本人宛郵送します
学費・諸経費	入学金 240,000円 施設費 150,000円 授業料年額 396,000円(2カ月分を4・6・8・10・12・2月に納入) 教育充実費(2年4月・3年4月に分けて納入)、生徒会費・保護者会費(4月・10月の2期に分けて納入)、同窓会費(1年次4月のみ納入)などの諸経費が入学後納入になります。		
入学手続	令和3年1月25日(月)・26日(火)の期間内に入学金・施設費合計390,000円を「ゆうちょ銀行」にて払い込んでください	【専願】 令和3年2月12日(金)～15日(月)の期間内に入学金・施設費合計390,000円を「ゆうちょ銀行」にて払い込んでください 【併願】 令和3年3月2日(火)～3月4日(木)の期間内に入学金・施設費合計390,000円を「ゆうちょ銀行」にて払い込んでください	令和3年3月6日(土)～9日(火)の期間内に入学金・施設費合計390,000円を「ゆうちょ銀行」にて払い込んでください
奨学生制度	学業奨学生制度はありません	特進コースを志願し、難関大学に進学する意志を持ち、身体強健・品行方正・学業成績が特に優秀な生徒 第1種 入学金・施設費・教育充実費・授業料1年次相当額を支給 第2種 入学金・施設費・教育充実費・相当額を支給 ※第1種・第2種とも入試結果により、最高3年次までの授業料相当額を支給します	特進コース(選抜クラス・特進クラス)合格者の中で、入試結果が極めて優秀な生徒には奨学金を支給します
	運動能力・学業・人物共に優れた生徒に対し、本校部活動顧問の推薦によるクラブ奨学生制度があります。 なお、硬式野球部については、奨学生対象者は5名を限度とし所属中学校長の推薦書が必要です。		適用はありません

学校法人 明德学園 相洋中・高等学校

発行日/令和2年11月6日 発行所/小田原市城山4-13-33 学校法人明德学園相洋中・高等学校 TEL(0465)221133 編集者/学園広報担当 購読料 100円